



数字で見る、自治体財政の困窮

平成18年度決算カード（総務省）に見る県内各市の状況

※県内唯一の「不交付団体」である苅田町と再建団体となった夕張市も掲載しています。

	職員1人あたりの人口	住民一人あたりの一時借入金利子(円)	経常収支比率	財政力指数	実質公債費比率
福岡市	191.0	175	89.0	0.81	23.0
北九州市	158.2	50	94.2	0.66	12.1
大牟田市	133.6	7	101.5	0.52	15.9
久留米市	176.1	10	93.7	0.69	9.6
直方市	155.6	26	99.6	0.53	16.0
飯塚市	139.6	44	99.0	0.51	14.1
田川市	125.5	7	94.7	0.39	13.4
柳川市	166.8	3	92.4	0.47	15.4
八女市	146.0	0	95.9	0.50	16.0
筑後市	177.4	0	92.9	0.65	17.8
大川市	157.9	0	95.1	0.57	15.4
行橋市	194.0	30	97.4	0.61	12.6
豊前市	124.3	15	93.3	0.49	15.2
中間市	166.5	25	102.2	0.43	13.0
小郡市	178.2	26	95.0	0.66	14.9
筑紫野市	226.2	13	88.0	0.72	13.4
春日市	266.3	6	96.0	0.69	13.8
大野城市	243.9	176	91.0	0.74	10.1
宗像市	228.4	0	90.1	0.61	9.5
太宰府市	214.5	0	100.9	0.68	15.7
前原市	227.6	4	96.7	0.54	17.8
古賀市	181.3	7	93.8	0.65	11.9
福津市	186.7	5	91.2	0.59	10.5
うきは市	137.1	0	87.9	0.40	7.0
宮若市	111.7	1	92.4	0.63	13.5
嘉麻市	98.0	0	105.9	0.27	16.3
朝倉市	124.2	29	96.3	0.58	13.3
みやま市	142.0	0	92.7	0.41	13.0
苅田町	151.0	0	70.6	1.57	10.9
夕張市	125.1	10,491	119.9	0.24	38.1

（「職員数」については、消防職員は含んでいません。）

- ※ 一時借入金利子とは 地方自治体は、支払い資金の不足を臨時にまかなうために、その年度内で償還する条件で「一時借入金」を借り入れることができます。予算の歳入にも歳出にも計上されませんが、支払い利子は公債費の一部として計上されます。
- ※ 経常収支比率とは 財政構造の弾力性を測定する指標で、80を超える場合は財政構造は弾力性を欠いているとされてきました。しかし、地方財政全体が悪化している今日では、大部分の市町村が80を超えて要注意の状態となっています。100を超えると、恒常的に必要な経費が収入でまかなえていない状態になっていることを示しています。
- ※ 財政力指数とは 一般財源必要額に対して市税等の一般財源収入額がどの程度確保されているかを測るもので、比率が高いほど、財政力が強いこととなります。
- ※ 実質公債費比率とは 実質的な公債費に費やした一般財源の額が標準財政規模に占める割合の3か年の平均値で、18%を超えると「公債費負担適正化計画」を作成しなければなりません。

決算カードのホームページは、<http://www.soumu.go.jp/iken/zaisei/card-7.html>

CONVENTION

会期日程

2月29日 開会・会期の決定

諸般の報告・議案上程

提案理由説明・特別委員会報告

告

1日～2日 休会(土・日)

3日～4日 考案日

5日～7日 一般質問

8日～9日 休会(土・日)

10日 議案質疑・諸般の報告質疑

議案常任委員会付託

予算特別委員会の設置及び議

案付託

請願書委員会付託

11日 考案日

12日 常任委員会付議案件審査

13日 考案日

14日 予算特別委員会付議案件審査

15日～16日 休会(土・日)

17日～19日 予算特別委員会付議案件審査

20日 休会(祝日)

21日 委員会審査報告

議案討論採決・請願書討論採決

選挙

追加議案上程・提案理由説明・

質疑応答・討論採決

会議録署名議員指名・閉会